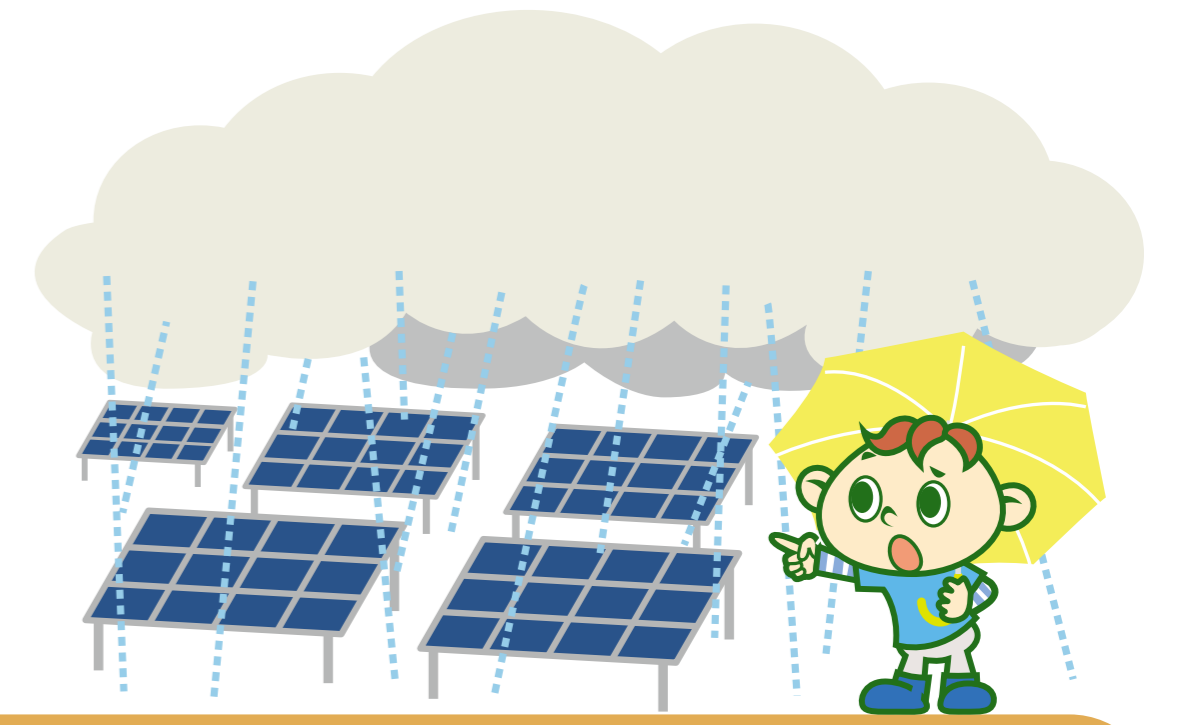
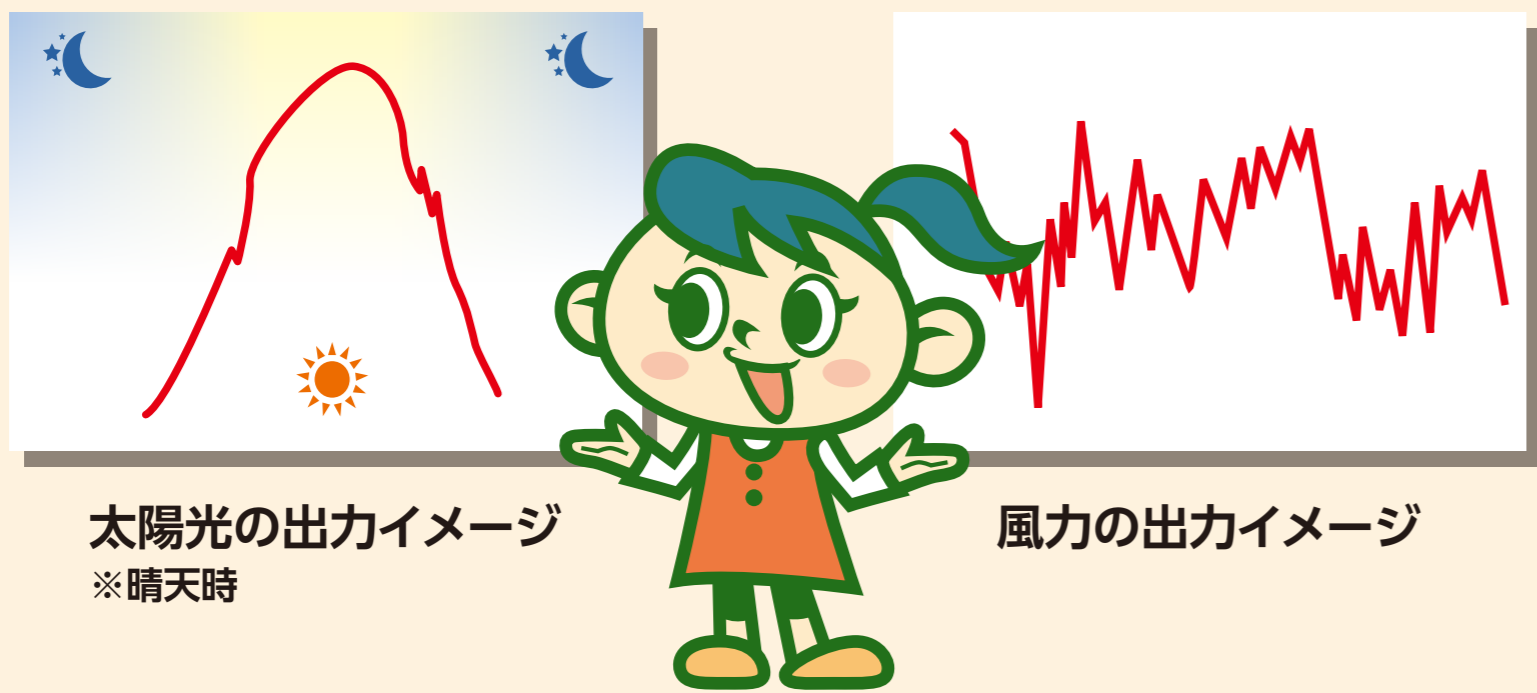


# 再生可能エネルギー 拡大への課題

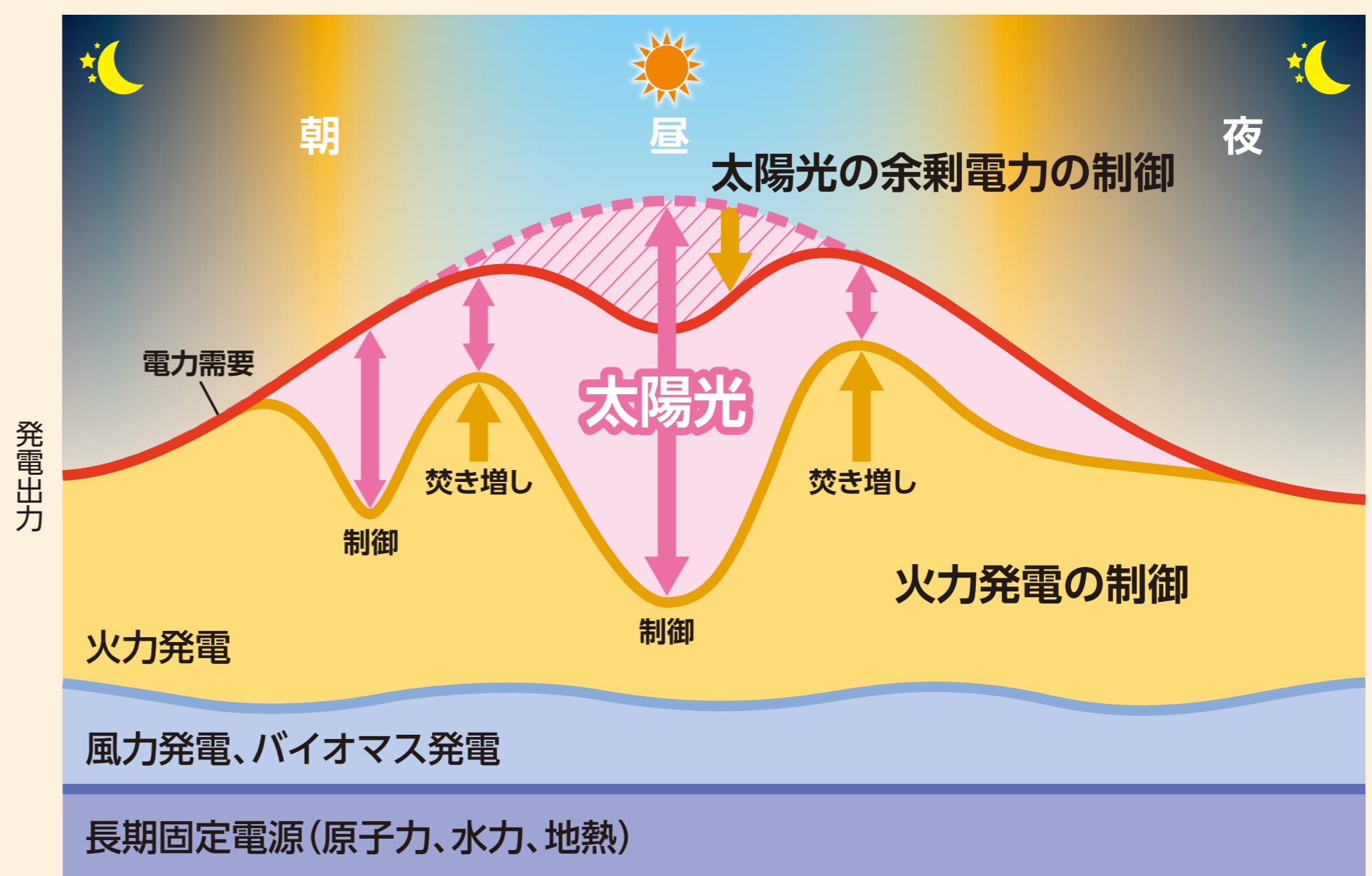


## 安定供給からみた再生可能エネルギー

太陽光・風力などの再生可能エネルギーは季節や天候によって発電量が変動します。ところが、電気は常に使用量と発電量と同じにする必要があり、そのバランスが大きく崩れると停電を引き起こしてしまうのです。安定供給のためには、火力発電などの出力調整が可能な電源をバックアップとして準備する必要があります。



最小需要日(5月の晴天日など)の需給イメージ



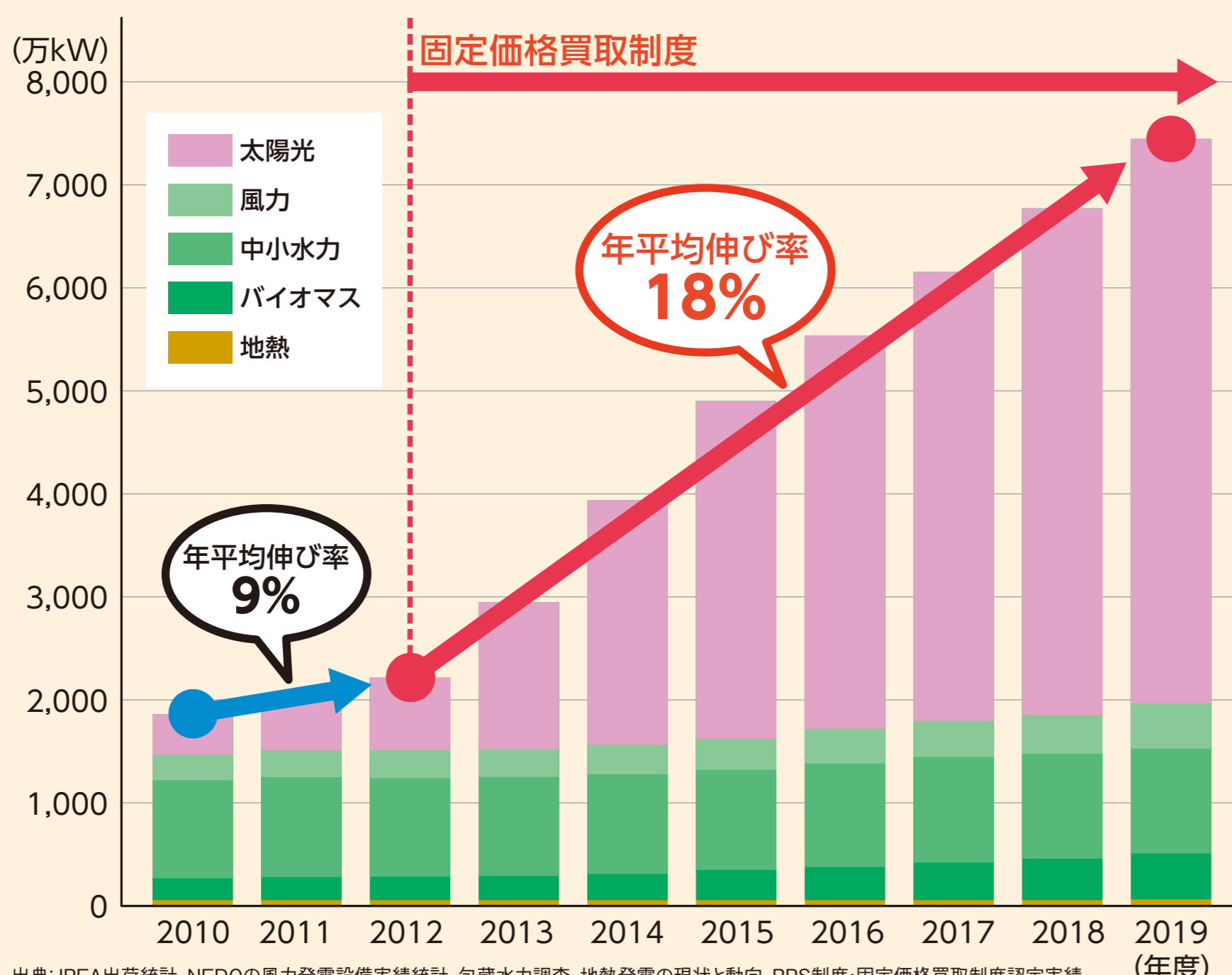
出典:資源エネルギー庁「日本のエネルギー2020」

## 「再生可能エネルギー発電促進賦課金」の増加

2012年に導入された、固定価格買取制度により再生可能エネルギーの設備容量は急速に伸びています。その買取費用は、「再生可能エネルギー発電促進賦課金」として電気を使用するすべての方が負担しています。

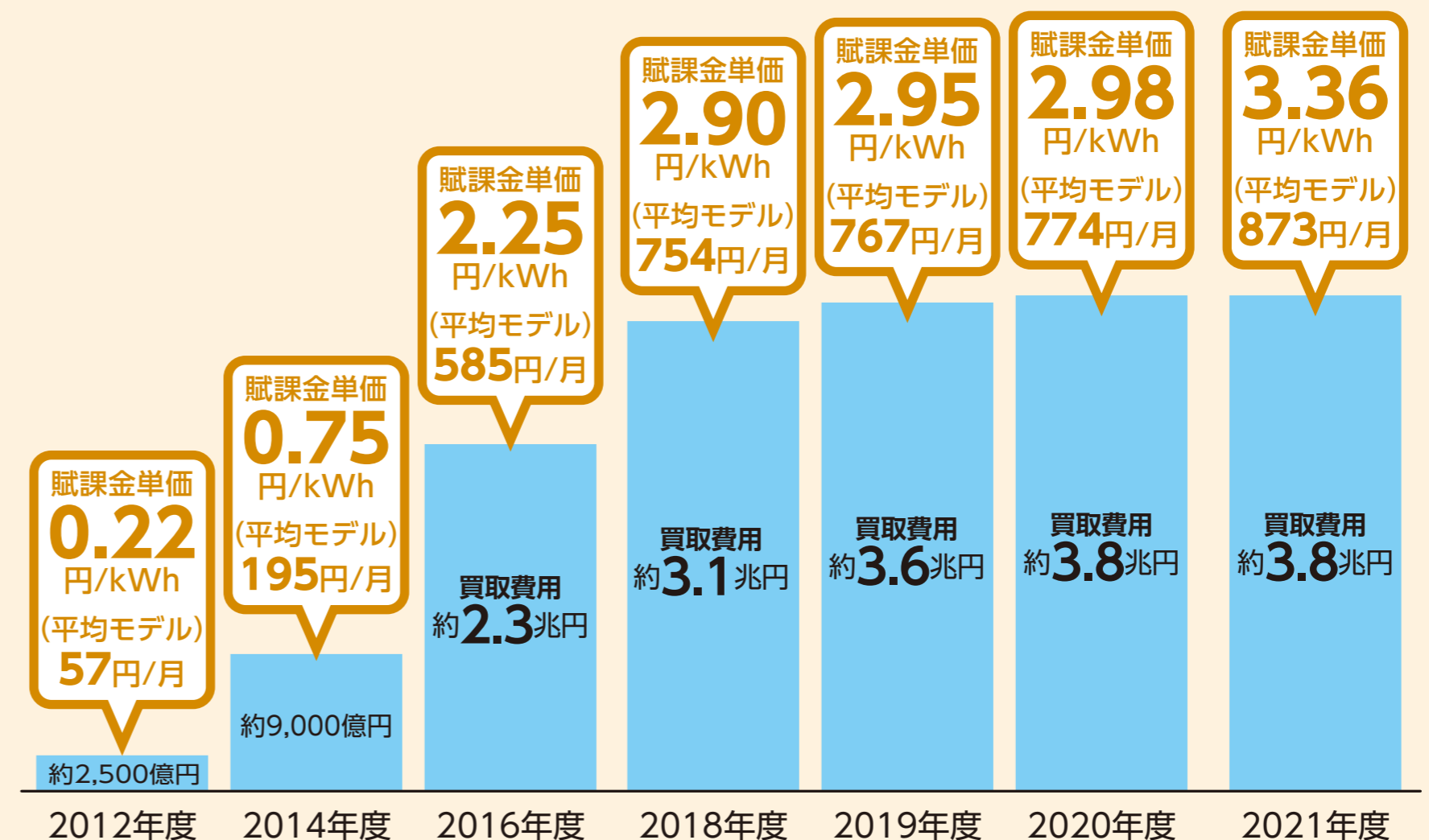
その負担は、2021年度は一般的な家庭(平均モデル:月260kWh使用)では月873円にもものぼっており、電気料金に上乗せされて徴収されています。

再エネの設備容量の推移(大規模水力は除く)



出典:JPEA出荷統計、NEDOの風力発電設備実績統計、包蔵水力調査、地熱発電の現状と動向、RPS制度・固定価格買取制度認定実績などにより資源エネルギー庁作成

固定価格買取制度導入後の賦課金の推移



資源エネルギー庁「日本のエネルギー2020」などをもとに作成

環境だけでなく安定供給や  
経済性も考える必要があるね。

